

2009年度事業報告

自:2009年4月1日

至:2010年3月31日

I. 概況と活動総括

2009年度も世界同時不況の直撃を受け続け、自動車や電機の業界は大幅に設備投資を縮小致しました。このため鍛圧機械受注は2009年1～3月期を底として序々に回復してきましたが、そのテンポは余りに遅く、鍛圧機械産業の受注総額は1416億円、前年度比△43.7%の2年連続の急落となりました。

このなかで2009年4月1日より社団法人から日本最初の一般社団法人へ移行し、各委員会や各部会にて2009年度重点課題に取り組み、

- ① MFエコマシン認証制度を2009年4月から実施し、外部委員も入ったエコマシン認証審議会にて19社31製品117機種を認証いたしました。認証機種の2000年生産機に対する平均省エネ率は40.7%の削減となっています。
- ② MF-Tokyo2009プレス・板金・フォーミング展を10月に開催し、出展112社、小間数701小間、活気のある鍛圧ユーザの来場者27千人を迎え、日本塑性加工学会の講演や大学研究室などの積極的参加も頂き、来場者も出展者も満足度の高い展示会となりました。
- ③ MF技術大賞を創設し、トータルでエコな製品製作に顕著な成果を上げた企業群をまとめて表彰し、鍛圧機械産業の実力をPRする制度を新設しました。予備部会や第三者を中心に組織した選考委員会で表彰制度運営要領を検討策定しましたので、2010年5月より募集を開始致します。
- ④ サーボプレスJIS原案作成委員会で原案を作成した規格案は「プレス機械—サーボプレスの安全要求事項」(B6410)として9月、日本工業規格として公示されました。これに伴いサーボプレスJIS安全規格適合品の公表制度を新設することとし、普及促進を図っていきます。
- ⑤ ISO/TC39/SC10国際会議においてプレス機械の国際規格(IS)化が決定し、WG1が設けられることになりました。工業会として積極的に規格作りに参画するため、WG対策委員会を設け欧州CENを含め対応しています。
- ⑥ 受注調査統計は全会員対象の月次統計に2009年1月度より移行しましたが、稼働日ベース翌月7日目で会員へ結果報告が出来るようになりました。また初めて翌年の受注額予測を発表しました。
- ⑦ 2機種の専門部会(鍛造プレス、プレスブレーキ)を2010年1月発足させ、固有の問題点の討議を深めることにしました。フォーミング部会は終了と致しました。
- ⑧ ホームページの内容充実による会員への情報提供やユーザ層向けPR強化等を図りました。

などの活動結果を得ることが出来ました。

- ②リスクアセスメントガイドラインについて
- ③JIS:サーボプレスの安全要求事項について
- ④エネ革税制の拡充について
- ⑤MF 技術大賞の創設について

第2回委員会(11月24日) 機械振興会館において開催

審議①MF エコマシン認証制度 1年目の認証登録状況について(報告)

- ②MF 技術大賞の運営要領について
- ③各専門部会の活動について

(2)MF エコマシン認証制度説明会(4月3日)

運用と製品別認証基準の説明(参加人員 45名)

なお MF エコマシン認証ロゴ図案の商標登録は日本、中国、ロシア、EU、米国、韓国、台湾で完了、インドは申請済審査中。

(3)MF エコマシン認証審議会

(委員長・柳本潤/東大教授、副・布施征男/省エネセンター部長 5回開催)

個別認証審議と追加機種の新規作成

第6回審議会(5月14日) 機械振興会館において開催

第7回審議会(6月5日) 機械振興会館において開催

第8回審議会(7月2日) 機械振興会館において開催

第9回審議会(9月8日) 機械振興会館において開催

第10回審議会(3月16日)機械振興会館において開催

(4)MF 技術大賞選考委員会と予備部会

(委員長・石川孝司/名大教授、部会長・柳本潤/東大教授、3回開催)

技術大賞の制度について討議しルールの創設を行った。

第1回予備部会(11月12日) 機械振興会館において開催

第2回予備部会(12月10日) 機械振興会館において開催

選考委員会と予備部会合同会議(3月3日) 機械振興会館において開催

(5)サーボプレス JIS 規格臨時分科会(6月30日 幹事・斎藤剛/安衛研主任)

パブリックコメントの質問にたいする回答内容について臨時分科会を開催し審議の上、経産省日本工業標準調査会に回答した。9月25日に日本工業規格「B6410 プレス機械—サーボプレスの安全要求事項」として公布された。

(6)サーボプレス JIS 規格勉強会(10月22日) 機械振興会館において開催

JIS B6410 プレス機械—サーボプレスの安全要求事項について高橋岩重講師による勉強会を開催した。(25社45名参加)

(7)日鍛工 ISO・WG 対策委員会(主査・斎藤剛/安衛研主任研究員)

ISO/TC39/SC10 国際会議にて、「プレス機械に関する3つの EN 規格を統合し国際規格にする」ための WG の立ち上げが承認され、この WG1 に積極的に関与するため、対策委員会が組織された。WG1 日本側委員(エキスパート)として、安衛研の斎藤剛主任研究員、主)コマツ産機の畑幸男グループ長、副)アイダエンジニアリングの寺塚幸正マネジャーの3氏が選ばれた。ISO・WG1 の国際会議は2010年11月16~18日開催される。

第1回 WG 対策委員会(1月26日) 機械振興会館において開催

(8)欧州標準化委員会 CEN/TC143/WG1 ミーティングに日鍛工からオブザーバ派遣

(3月2日~3月3日、斎藤剛/安衛研、畑幸男/コマツ産機)

ドラフトを作成する CEN の WG1 会議にオブザーバ参加し、日本のサーボプレスの規格をプレゼンし CEN 原案の方向性を確認するとともに、各委員と交流を図った。

- (9)労働安全衛生法に基づく特定自主検査済標章の販売事業  
中央労働災害防止協会作成の大小標章 51,228 枚(前年度 39,808 枚)を販売し、  
ほぼ通常年度枚数に回復した。
- (10)エネルギー需給構造改革投資促進税制(エネ革税制)  
基準該当サーボプレスの即時 100%償却適用で 22 年度まで延長されている。  
2009 年度は昨年度の 9 倍の 144 件の証明書を発行しました。
- (11)団体PL保険制度の加入状況  
団体国内PL保険に 2 社増え会員 31 社が加入、団体海外PL保険に会員 21 社  
が加入。引受幹事会社は三井住友海上火災保険㈱、代理ワールドインシュアラン  
スサービス㈱

## 7.調査統計委員会(委員長・高瀬孔平理事/住友重機械工業テクノフォート 2 回開催)

### (1)委員会(2 回開催)

第 1 回委員会(7 月 8 日) 機械振興会館において開催。

審議①統計月次化の報告発信日と参加状況について

- ②会員事業活動調査票の分析について
- ③ものづくり白書、通商白書について
- ④構造分析・需要予測について

第 2 回委員会(12 月 15 日) 機械振興会館において開催

審議①統計月次化の報告発信日について

- ②名目 GDP の推移、経済動向について概況説明
- ③各委員による 2009・2010 年受注予測とその根拠説明
- ④委員長による 2010 年予測まとめ

### (2)調査統計の実施

#### ①工業会の受注業況調査の充実

2009 年 1 月から開始した全会員ベース月次受注調査の集計結果を、稼働日ベ  
ース 7 日目で会員にフィードバックする日程が定着した。

#### ②翌年の鍛圧機械受注額予測の開始(12 月)

2010 年の鍛圧機械受注額予測を検討し公表いたしました。

#### ③国家統計の鍛圧機械部門の集計

(イ)鍛圧機械の生産・出荷統計(経済産業省/機械統計)

(ロ)鍛圧機械の輸出入統計(財務省/貿易月報)

尚 2010 年 1 月より委員長は白井国康理事/山田ドビーに交代しました。

## 8.広報見本市委員会(委員長・鈴木康夫副会長/コマツ 4 回開催)

### (1)委員会(3 回開催)

第 1 回委員会(6 月 10 日) 機械振興会館において開催。

審議①MF-Tokyo2009 総括説明(申込、イベント、学会)

②MF-Tokyo での日本塑性加工学会の積極的参加と日本鍛造協会の参加

③日刊工業新聞社より概要説明

第 2 回委員会(12 月 16 日) 機械振興会館において開催

審議①MF-Tokyo2009 プレス・板金・フォーミング展の結果報告

②MF-Tokyo2009 の改善点について(各委員より)

③米シカゴ FABTECH+METALFORM および独 BLECHEXPO 報告

第 3 回委員会(3 月 10 日) 機械振興会館において開催

- 審議①MF-Tokyo2011 プレス・板金・フォーミング展の会期と場所について  
 ②MF-Tokyo2011 に向けての改善点について  
 (2)MF-Tokyo2009 プレス・板金・フォーミング展の出展者説明会(6月30日)  
 東京ビッグサイトにて開催。  
 (3)MF-Tokyo2009 プレス・板金・フォーミング展の開催  
 ①10月14日から17日まで4日間東京ビッグサイト西1~2ホールにて開催。  
 出展者 112社・団体、出展小間数701小間、(会員参加率81.3%)  
 来場者 27,162人。特別講演トヨタ自動車牟田常務役員。  
 ②学会との連携  
 日本塑性加工学会から教授19名を講師として、19講座で最先端研究セミナー実施。大学研究室から20研究室が研究発表のブースを開設。  
 ④出展者セミナーとアトリウムセミナー開設  
 会議棟での出展会員による17講座、出展者によるアトリウムでの47講座。  
 ③ユーザ団体との連携  
 日本鍛造協会が先端加工品を中心に26社展示。  
 ⑤アンケート  
 来場者の満足度 来場目的は<十分達成+ほぼ達成>=78.2%  
 出展者の満足度 出展意義は<大変有意義+有意義>=76.3%
- (4)海外展示会の調査  
 ①FABTECH+METALFORM 2009-11-15~18 米国シカゴ、  
 春山会長と主催 FMA.PMA.AMT 幹部と会談  
 ②BlechExpo 2009-12-1~4 ドイツ シュットガルト  
 主催 Schall 社及びシュラー社幹部と会談  
 ③IMTEX forming 2010-01-21~26 インド バンガロール  
 主催 IMTMA 幹部と会談

#### 9. 中小企業経営委員会(委員長・森孝一理事/森鉄工 2回開催)

- 第1回委員会(11月26~27日) 佐賀県において中部関西地区部会と共同開催。  
 工場見学:「東亜工機株式会社谷田工場」佐賀県鹿島市  
 祐徳稲荷神社見学のあと嬉野温泉大正屋にて懇親会、翌日ゴルフ会。  
 第2回委員会(1月29日) 機械振興会館において関東部会と共同開催。  
 講演会:「我が社の経営戦略」  
 講師:株式会社山田ドビー 副社長 白井国康氏 終了後懇親会

#### 10. 専門部会

- (1) 鍛造プレス専門部会  
 (部会長・高瀬孔平理事/住友重機械工業テクノフォート 1月新設 1回開催)  
 鍛造プレスの課題について  
 第1回部会(3月29日) 機械振興会館において開催  
 (2) フォーミング専門部会 (部会長・山本知弘理事/山本水圧 2回開催)  
 各社オンリーワン型商品のプレゼンテーション事例研究  
 第1回部会(7月14日) 機械振興会館において開催  
 第2回部会(10月20日) 機械振興会館において開催  
 累計5回の実例研究の成果を得て2009年度で部会終了とする。  
 (3) 油圧プレス専門部会 (部会長・村上新一副会長/川崎油工 3回開催)

油圧プレス産業ビジョン作成について

- 第1回部会(7月7日) 機械振興会館において開催  
第2回部会(10月28日) 機械振興会館において開催  
第3回部会(1月19日) 機械振興会館において開催  
(4) プレスブレイキ専門部会 (部会長・前田彰理事/村田機械 1月新設)  
(5) レーザ・プラズマ専門部会 (部会長・岡本満夫副会長/アマダ 3回開催)  
レーザ加工機の作業者安全教育資料を作成  
第1回部会(7月21日) 機械振興会館において開催  
第2回部会(11月5日) 機械振興会館において開催  
第3回部会(2月2日) 機械振興会館において開催  
(6) 自動化・安全装置専門部会  
(部会長・内田百馬副会長/オリイメック 5回開催)  
自動化装置の安全要求事項の工業会規格作成について  
第1回部会(7月28日) 機械振興会館において開催  
第2回部会(11月4日) 機械振興会館において開催  
第1回分科会(9月29日) 機械振興会館において開催  
第2回分科会(12月3日) 機械振興会館において開催  
第3回分科会(2月10日) 機械振興会館において開催  
(7) サービス専門部会 (部会長・小森雅裕理事/小森安全機研究所 3回開催)  
予防保守保全のすすめパンフレット作成について  
第1回部会(8月4日) 機械振興会館において開催  
第2回部会(11月10日) 機械振興会館において開催  
第3回部会(1月27日) 機械振興会館において開催

11. 関東・中部関西地区部会 (2回開催)

- (1) 関東地区部会(部会長・相澤邦充理事/相澤鐵工所 1回開催)  
(1月29日) 機械振興会館において中小企業経営委員会と共同開催。  
講演会:「我が社の経営戦略」  
講師:株式会社山田トビー 副社長 白井国康氏  
終了後 懇親会開催  
(2) 中部・関西地区部会(部会長・平井一憲理事/川副機械製作所 1回開催)  
(11月26~27日)佐賀県において中小企業経営委員会と共同開催。  
工場見学:「東亜工機株式会社谷田工場」佐賀県鹿島市  
祐徳稲荷神社見学のあと嬉野温泉大正屋にて懇親会、翌日ゴルフ会。

12. その他の事業

- (1) MF-Tokyo2009 開会レセプション(10月14日昼)東京ビッグサイトにて開催  
(2) 2010年新年賀詞交歓会(1月8日) 芝パークホテルにおいて開催。

III. 会員異動状況

1. 会員の入会・退会・異動について

正会員退会

1. 株式会社岩井鐵工所 (2009年6月30日付退会)
2. コムコ株式会社 (2009年9月30日付退会)
3. 三恵機械株式会社 (2010年3月31日付退会)

## 正会員資格喪失退会

### 1. ヒノテック株式会社（2010年1月31日付喪失退会）

会費支払義務を6ヶ月以上履行しなかったことにより、定款第10条第1項第1号の規定により、会員資格を喪失し退会となった。  
但し同条第2項により、6ヶ月以内（本件は7月31日迄）に未納会費を全納した場合は会員資格復活となります。

## 参考 関連条文

<定款 一般社団法人日本鍛圧機械工業会>

（会員資格の喪失）

第10条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第7条の支払義務を半年以上履行しなかったとき。
- (2) 総正会員が同意したとき。
- (3) 会員である企業が解散したとき。
- (4) 正会員が鍛圧機械又は関連装置及び機材の製造事業者でなくなったとき。

2 前項第1号により資格喪失後、半年以内に未納会費を全納した場合は資格を復活させる。ただし、滞納中の権利は復活できない。半年を超えた場合は未納会費全納後に再入会を審査する。

<会費及び入会金規則 一般社団法人日本鍛圧機械工業会>

第2条 会費の負担基準は次の通りとし、四半期分をその期の最初の月迄に納入する。

<一般社団法人及び一般財団法人に関する法律平成18年6月2日法律第48号>

（法定退社）

第二十九条 前条の場合のほか、社員は、次に掲げる事由によって退社する。

- 一 定款で定めた事由の発生（以降の号省略）

## 賛助会員退会

### 1. 蛇の目ミシン工業株式会社（2009年4月30日付退会）

### 2. ブルーダラー・プレス株式会社（2010年3月31日付退会）

以上により 正会員 4月1日期初時点 77社→2010年3月31日現在 73社

賛助会員 4月1日期初時点 10社→2010年3月31日現在 8社

## 2. 会員代表者の変更について

### 1. 株式会社理工社（2009年5月13日付届出）

旧会員代表者 大戸 将大 代表取締役社長

新会員代表者 黒川 理 取締役

### 2. 株式会社放電精密加工研究所（2009年7月1日付届出）

旧会員代表者 長谷川 清 取締役開発事業部長

新会員代表者 矢部 純 開発事業部長

### 3. 日立オートモティブシステムズ株式会社（2009年7月1日付届出）

旧会員代表者 村山 省己 主幹技師

新会員代表者 都丸 直治 工機部部長

4. 大同マシナリー株式会社（2009年7月1日付届出）

旧会員代表者 吉田 晋作 取締役営業部長

新会員代表者 新谷 禎敏 営業部長

3. 社名変更について

旧社名 株式会社日立製作所より分社化

新社名 日立オートモティブシステムズ株式会社（2009年7月1日付）

4. 役員退任

監事辞任 岩井良明 株式会社岩井鐵工所（2009年6月30日付け登記）

以上

2010年3月31日

2009年度 長期日程表 兼 実績プロロー表

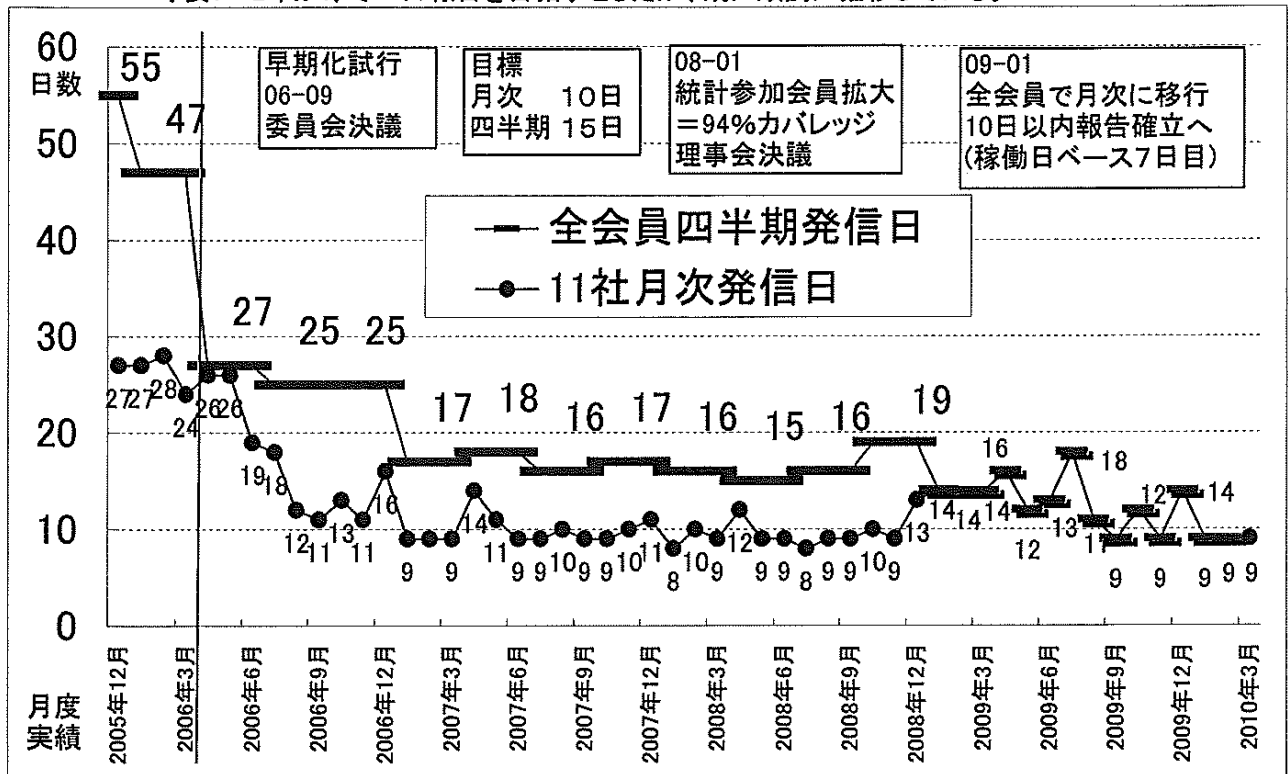
一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

回数表示は総会・理事会は全通算表示、委員会は2年任期通算表示です。		原則-木曜日										原則-火曜日									
会	総会 (顧問)	専任理事 代表者選任 役員承認	企画 委員会 副委員長	正副会長 (人事のみ)	通商 市川副会長 4/3 エコ協理説明会	技術委員会 エコ/大賞 10/27(10/26/27)	調査統計 委員会 高瀬理事	広報見本市 委員会 鈴木副会長	鍛造プレス 専門部会 高瀬理事	油圧プレス 専門部会 村上副会長	フナミプレス 専門部会 山本理事	プレスプレキ 専門部会 前田理事	レーザ加工 専門部会 岡本副会長	自動化安全 装置専門部会 内田副会長	サービスマ ン専門部会 小塚理事	中小企業 経営委員会 森理事	関東 地区部会 相澤理事	中部関西 地区部会 平井理事	番外 事務局		
4月	4/16(金)臨時 代表者選任 4/22(金)臨時 役員承認	4/16(金)臨時 役員承認	春山副会長	春山会長	エコ協理説明会	エコ/大賞 10/27(10/26/27)	高瀬理事	鈴木副会長	高瀬理事	村上副会長	山本理事	前田理事	岡本副会長	内田副会長	小塚理事	森理事	相澤理事	平井理事	4/16(金)臨時 代表者選任 4/22(金)臨時 役員承認		
5月	5/21(定時)臨時 決算と役員 承認	役員承認			5/14(エコ)審 議	6/30(エコ)審 議		6/10(出 産者)説明 会											5/18(春)審 議		
6月						6/30(エコ)審 議		6/10(出 産者)説明 会											6/19(新)団 連		
7月		7/23(臨時)臨時 役員承認			7/16(エコ)審 議		7/8(統 計)早稲 化 →精進分析		7/7(油 圧)プレ ス →プレキ	7/14(各 社)プレ キ			7/21(規 格)安全 と混同	7/28(安全 要求)事 項					7/14(統 計)早稲 化 →精進分析		
8月																			8/7(工 作)団連 協		
9月																			8/28(日)機 連社団		
10月																			9/16(日)機 連海外		
11月																			10/13(日)機 連海外		
12月																			11/20(日)機 連海外		
1月	1/8(1/8)臨時 役員承認																		11/26(見 学)研修 班		
2月																			12/18(監 査)省 ビ ジネス		
3月																			2/5(作 業)研 究 社		
4月																			4/16-17(イ ンター ネット 4/21-24 ア ン グ ラ フ イ ン テ ル ナ シ ョ ン)		
5月																			5/25(講 習)研 究 社		



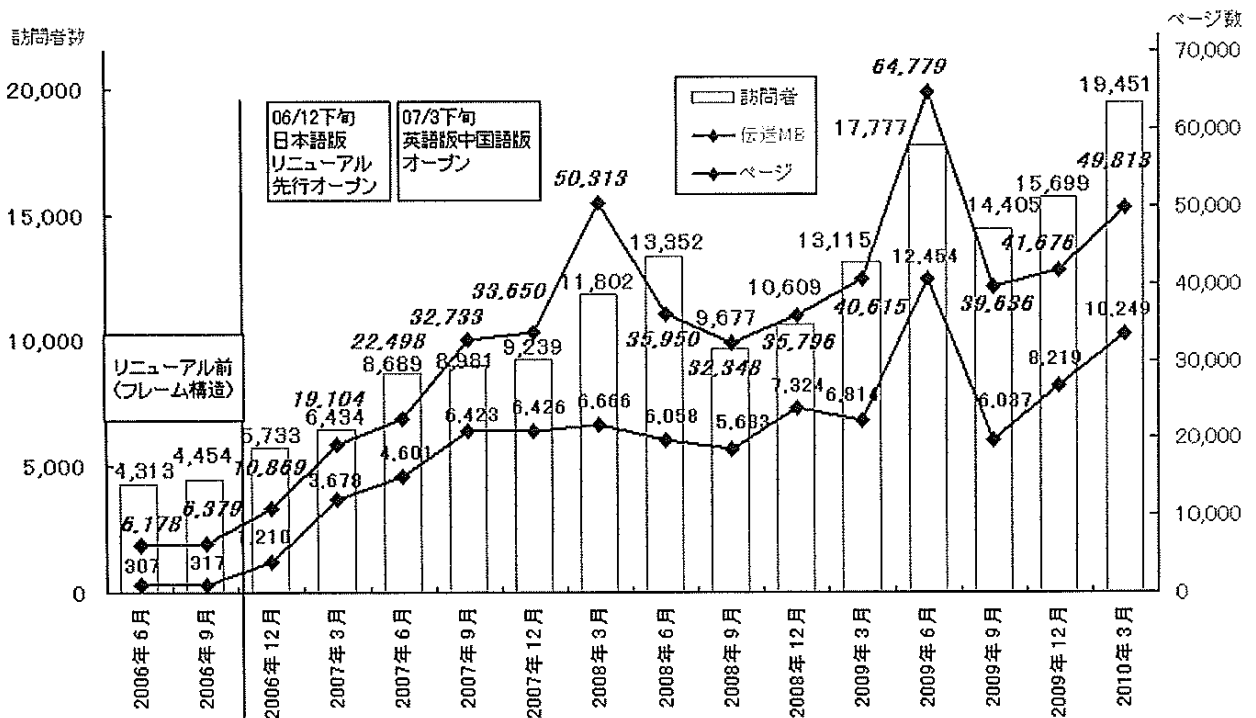
日鍛工 受注統計調査 全会員での月次移行(発信所要日数推移) 2010/4/9

統計早期化と報告会員増加(94%カバレッジ)し、更に四半期会員も月次へ移行を2009年1月から実今後1~2年かけて10日報告を目指すとしたが、既に順調に推移している。



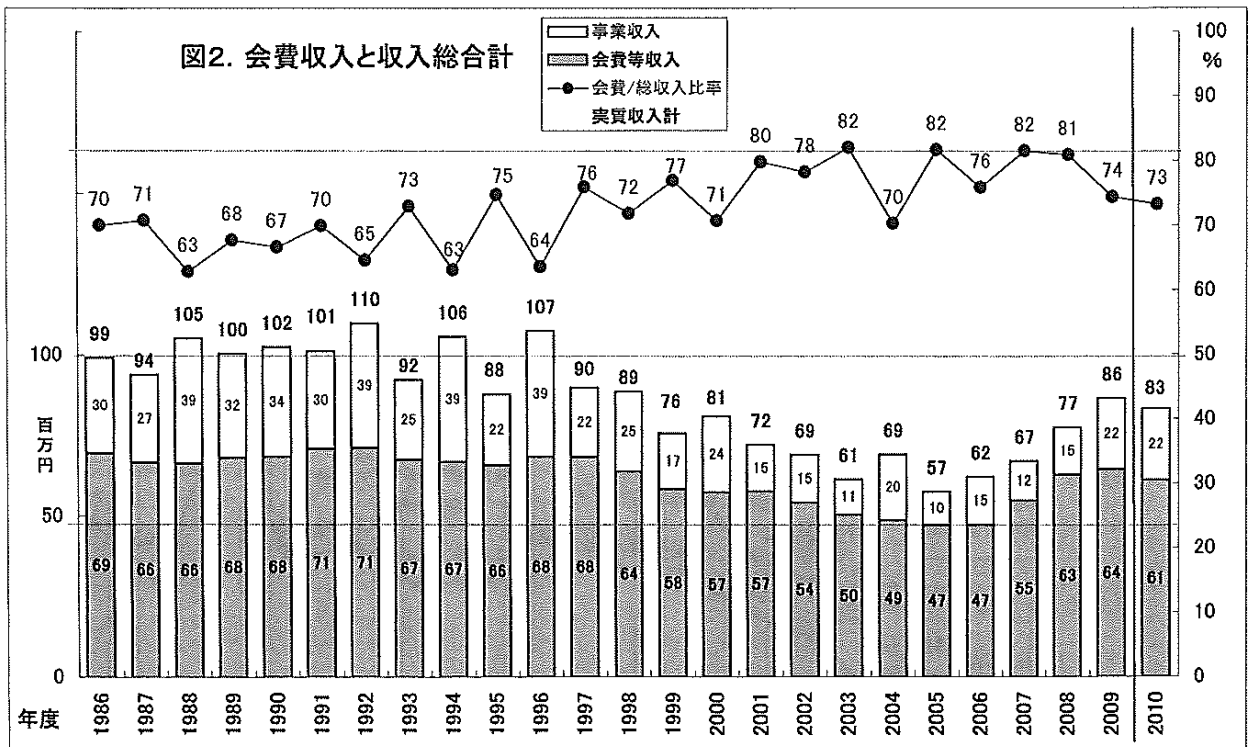
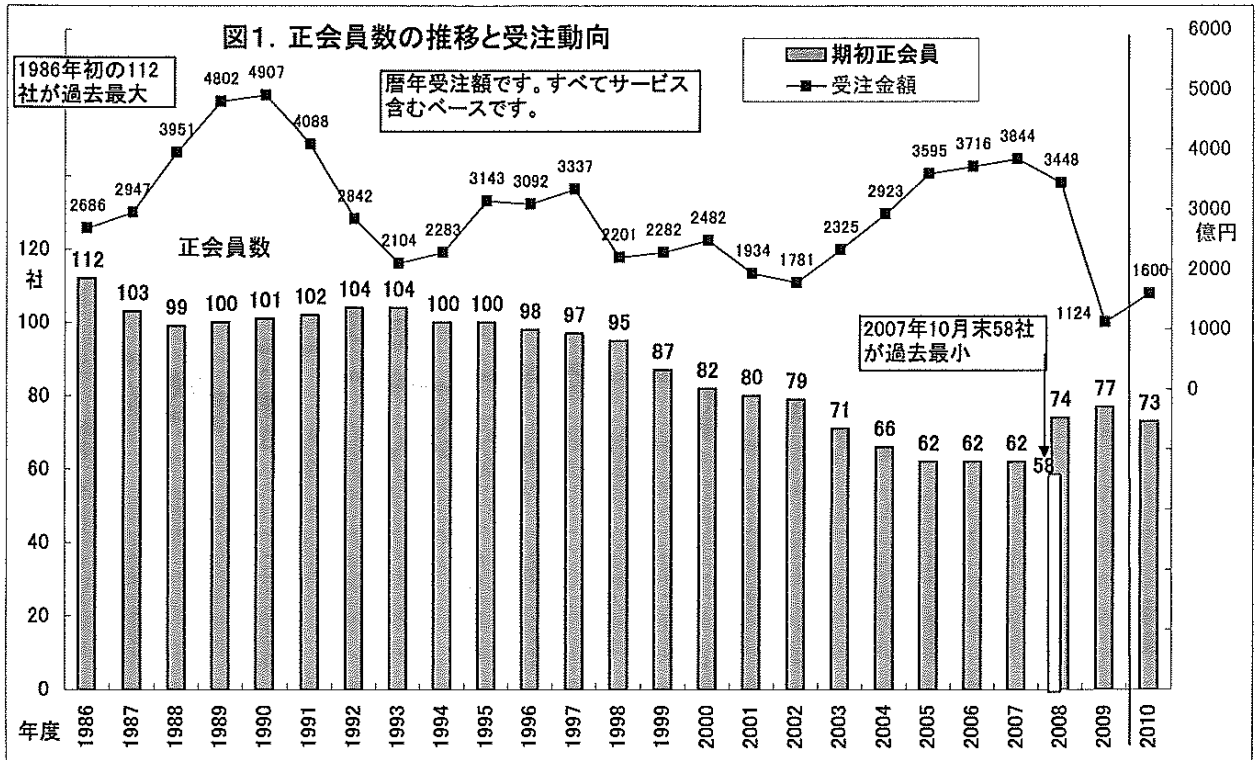
日鍛工 ホームページへのアクセス数の推移

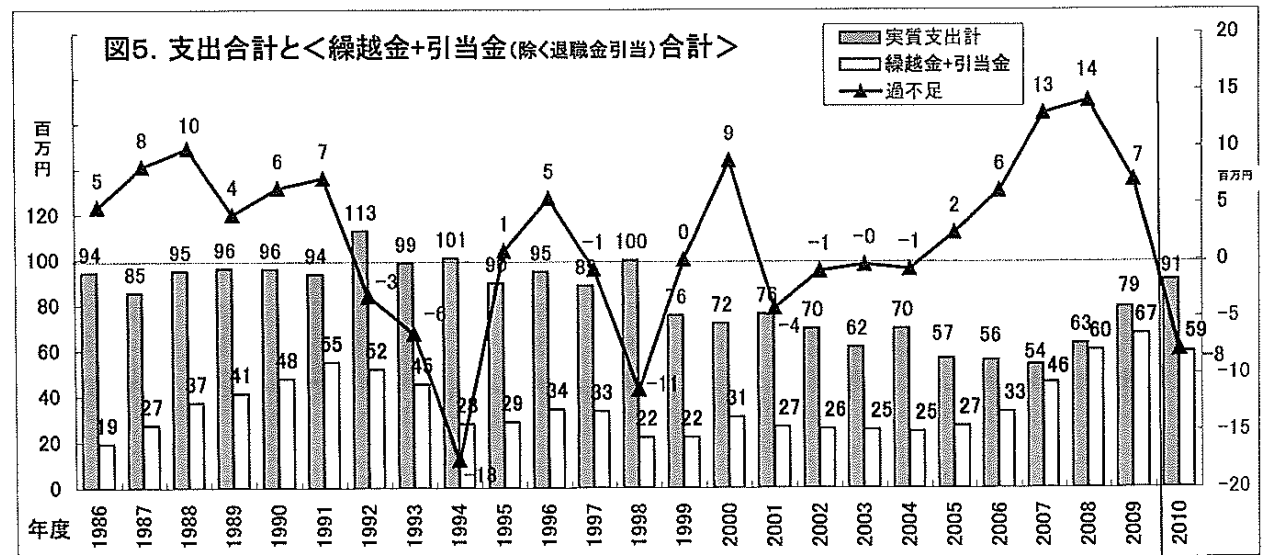
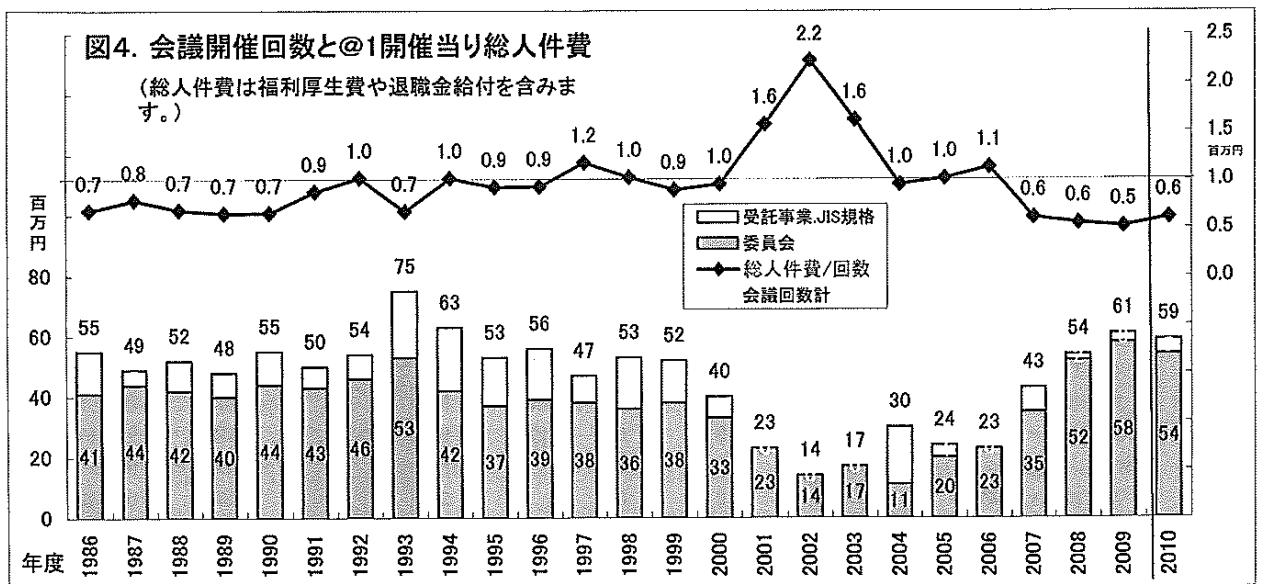
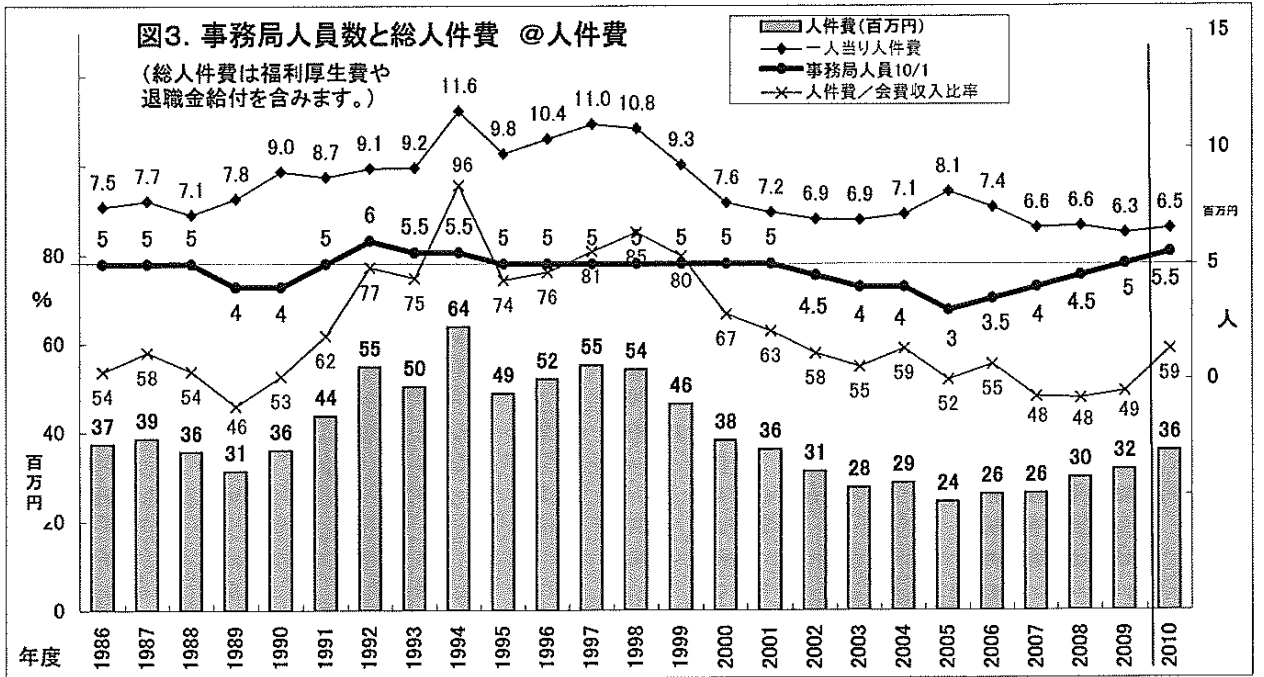
リーマンショックの08/9月度にホームページへのアクセス急落したが順調に拡大基調に戻った。09/6月はものづくり試作補助金で増加しました。09/10月はMF-Tokyoで18,554人の訪問があり最高値だったが、10/3月に記録更新した。



2009年度事業報告と2010年度事業計画の説明資料

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会の過去25年間実績と予算





一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 会員と組織図

